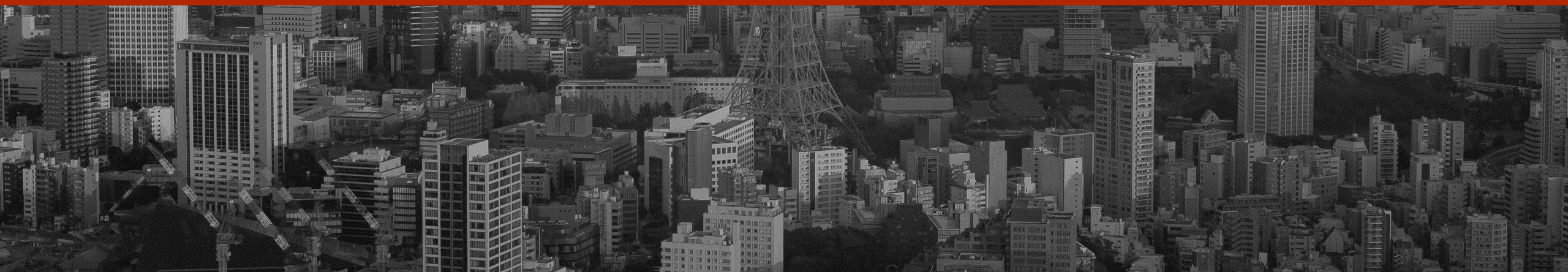
投資先紹介レポート
GRCS(9250)

KxShare株式会社運用部



2023/3/3

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

文系版SHIFTになるポテンシャルのあるプロファーム



Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

GRCS(9250)

設立　2005年
本社　東京都千代田区
代表者　代表取締役社長　佐々木　慈和
従業員数　175名（2022年11月末）
市場　東証グロース
業種　サービス業
上場　2021年11月18日
時価総額　38億円（2023年2月28日）

1. 事業概要

2. KxShareが考えるエクイティストーリー

① 文系版SHIFTとも言えるプロファーム

② 金融トレーディングプラットフォームの成長ポテンシャル

③ 金融への先行投資が一巡し下期から利益創出フェーズ入り

カタリスト・リスク

Appendix

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

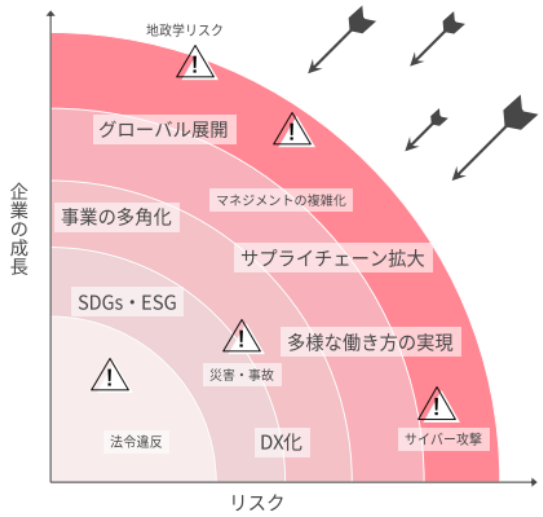
事業概要　オフィシャルな事業説明

KxShare

GRCSは、G＝ガバナンス、R＝リスク、C＝コンプライアンス、S＝セキュリティという**『企業経営における守備体制の構築支援』**に特化したプロフェッショナルファーム。
「アナリティクス　⇒　ソリューション　⇒　プロダクト　⇒　モニタリング」という4つのフローをワンストップで提供。

⇒ **理解が難しいため次項で解説**

日本企業を取り巻く環境



企業の成長とともにさらされる脅威も増える

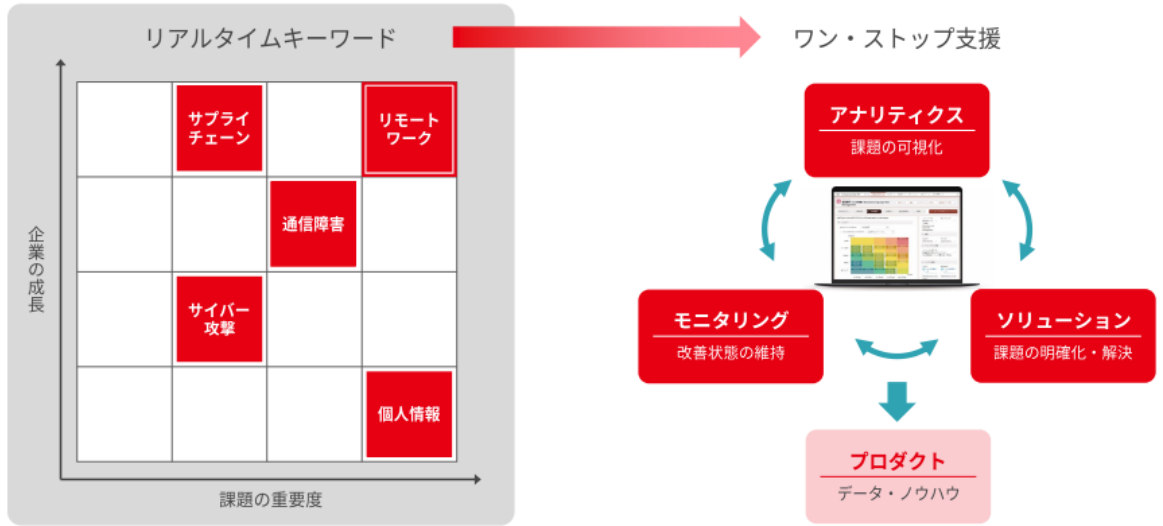
日本の企業は守備体制の構築が不十分

リスクを減らし、企業成長の最大効率化を支援します

G	ガバナンス体制の構築
R	リスクマネジメントの強化
C	コンプライアンス意識の向上
S	セキュリティ対策の支援

当社のサービス提供領域と仕組み

- ✓ プロダクトの活用により、全社的な情報管理や共有を効率化　⇒　企業課題を可視化
- ✓ 分析、解決、維持をワン・ストップで支援　⇒　継続的なPDCAサイクルによりプロジェクトを積み増すフロー



2023/2/24　GRCS『事業計画及び成長可能性に関する事項』より

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

GRCSのもう少し具体的なサービス内容は以下の通り。
コンサルタントによる調査レポート作成やアドバイス提供等から始まり、必要なITプロダクトの導入を行い、運用フェーズにおいてストック収益化していくビジネスモデル。ニッチな分野であるため自社プロダクトも用意。

⇒ **前項を解説**

アナリティクス

『課題の可視化』

- 顧客に対して調査レポートを作成したり、常駐してリスク対策の**コンサルティング役務提供**を行ったりする
- 当社に蓄積したノウハウから「この会社ならこのリスクがありそう」「この業界でコンプライアンス事案はこの原因が多い」などの分析を提供できる

ソリューション

『課題の明確化と解決』

- 自社/他社、国内/海外を問わず、**世の中にあるプロダクトから適切なものを探してきて設計開発や導入支援を行う**
- セキュリティソフトの導入をする会社は沢山いるが、GRCのツールを導入支援できる会社は少ない点が強み

自社ソフトの場合

プロダクト

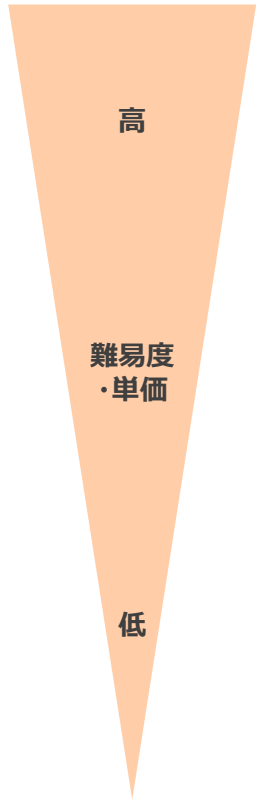
『ニッチな自社プロダクトの開発、データ・ノウハウの蓄積』

- 特にニッチなエリアで自社ツールを開発。現在のところ、全社的リスクマネジメント「**ERMT**」、外部委託先管理「**SRMT**」、組織内インシデント対応「**CSIRT MT**」、脆弱性の4本を提供中。開発を通してデータ・ノウハウを更に蓄積可能

モニタリング

『改善状態の維持』

- システムの運用保守やオペレーションの確認などといったモニタリングを定点観測的に行うストックビジネス



Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

事業概要　ソリューションで提供するプロダクト一覧

KxShare

ソリューションフェーズにおいては自社/他社、国内/海外を問わず最適なプロダクトの導入支援を行う。
自社プロダクトとしてはERMT、SRMT、CSIRT MT、脆弱性TODAYの4本を提供している模様。

企業経営におけるリスク管理

全社的リスクマネジメント ERM
ENTERPRISE RISK MT
ERMT
多角的な利用を踏まえた全社的リスクマネジメントの提供を目的とし、リスクマネジメントの国際ガイドライン ISO31000に準拠したERMツール
ERMT
自社

委託先管理
SUPPLIER RISK MT
SRMT
外部委託先に関連するセキュリティリスクの一元的な管理、可視化、コミュニケーションを支援するためのクラウドアプリケーション
Supplier Risk MT
自社

データ・プライバシー ソリューション
OneTrust
OneTrust
プライバシー運用、GRC、データガバナンスの個人情報データの一元化・可視化・自動化
OneTrust
米国クラウド
国内初のパートナー

クラウドセキュリティ

SASE
netskope
Netskope
社内からのクラウドサービス利用を可視化してアクセスをコントロール
Netskope
米国ベンチャーの製品

IDaaS
HENNGE One
HENNGE One
クラウドサービスでのセキュアなアクセスとシングルサインオン機能などを提供するSaaS認証基盤（IDaaS）
HENNGE One
HENNGE

サイバーセキュリティリスク管理

CSIRT
CSIRT MT.mss
CSIRT MT.mss
企業や組織内におけるCSIRTのインシデント対応と脆弱性対応およびその評価と改善を実現するためのクラウドサービス
CSIRT MT.mss
自社

脆弱性情報メール配信
脆弱性ZTODAY
脆弱性TODAY
セキュリティに精通した専門家が国内外の脆弱性情報を日々収集し日本語に翻訳して翌営業日にお届けするメール配信サービス
脆弱性TODAY
自社

次世代エンドポイントセキュリティ

次世代エンドポイントプロテクション
HP Sure Click Enterprise
HP Sure Click Enterprise
インターネット分離・Web分離をアプリで　次世代エンドポイントプロテクション
HP Sure Click Enterprise
ヒューレットパッカード

アクセス制御・WAF

特権ID管理ソリューション
Access Check
SecureCube Access Check
ゲートウェイ型の特権ID管理ソリューション。システムを安全に運用しながら迅速に対応し、増え続けるサーバ群に対して高い費用対効果
SecureCube Access Check
NRIセキュア

WAF
Imperva App Protect
クラウド型のWAFおよびDDoS対策・運用サービス
Imperva App Protect
米国製品

金融犯罪

Napier
（22/11/29～）
英国ベンチャーの製品

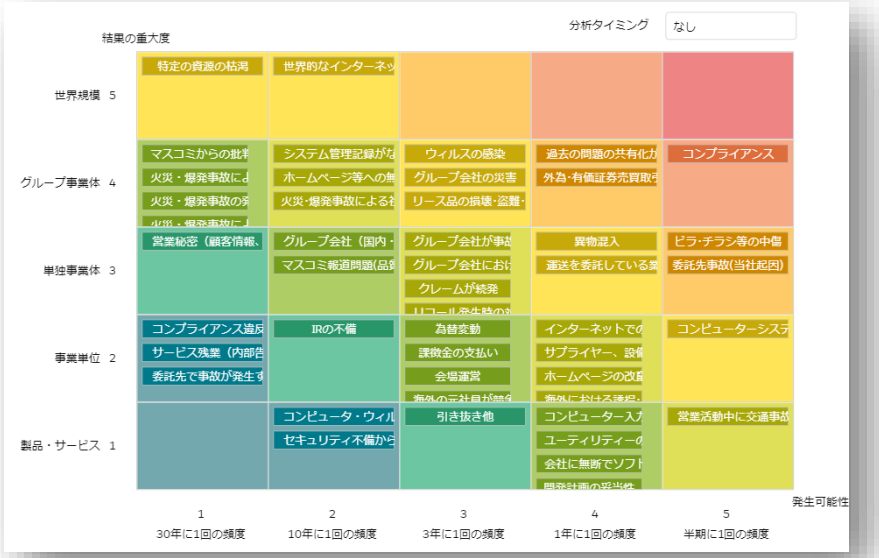
画像はGRCS製品一覧より https://www.grcs.co.jp/products （2023/2/28アクセス）

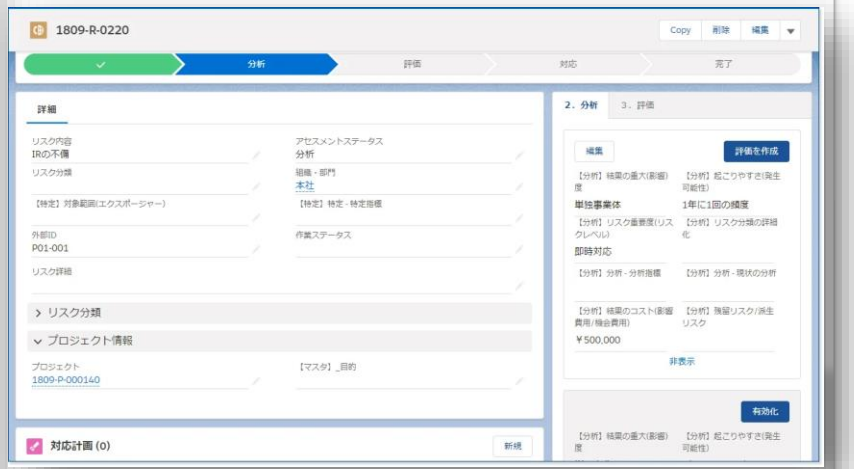
Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

事業概要　アナリティクス及びソリューションの肝となる『ERMT』

KxShare

全社的リスクマネジメントツールである**「ERMT」が同社の肝**と推察する。
会社に起こりそうなリスクを書き出して分析し、各対応計画を策定していく作業を行うツールで、Salesforce上で稼働する。
この作業をアナリティクス業務としてGRCSのコンサルタントが行うか、プロダクトを提供しGRCSのサポートのもと顧客が自ら行う。







①リスクマトリックス

横軸は発生可能性、縦軸は結果の重大度を表す。
各セルに該当するリスクを書き出していく。

②リスクの分析・評価

リスクカタログやマトリックスに書き出した各リスクを詳細に分析していく。担当部署に割り振る。

画像内では、リスク内容「IRの不備」、起こりやすさ「1年に1回」、結果コスト「50万円」などとある。

②リスク対応計画

具体的な対応策を決め、実行をモニタリングする。

画像内では、対応策表題「RPAを導入する」、リスク対応種「リスク源の除去」、対応内容「オペミス解消のため自動化する」、ステータス[計画準備中」などとある。

画像はERMTランディングページより https://www.grcs.co.jp/promotion/ermt （2023/2/28アクセス）

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

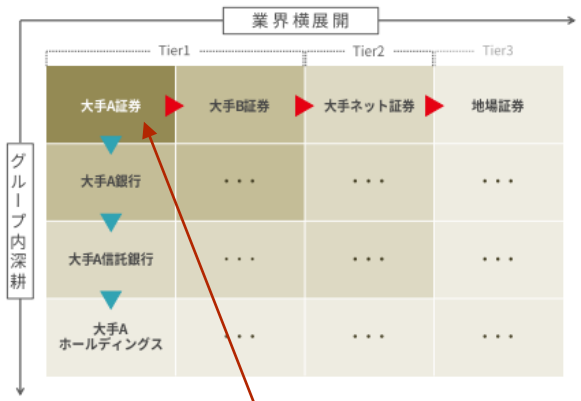
事業概要　第3の柱として金融フロント向けシステムを開発

KxShare

大口顧客としてみずほ証券が売上高の2～3割を占めてきた。またGRCの主旨から考えても金融機関向けはビジネスポテンシャルが大きいと同社では考えている。
証券会社のフロント部門（＝トレーダー）が使う**取引プラットフォームを新規開発**し、提供を開始する予定。

フィナンシャルテクノロジー：事業戦略

- ✓ 金融業界は非常に規模が大きく多様なサービスやプロダクトを提案できる有望な潜在顧客
- ✓ コンサルからデザイン、開発、実装、保守・メンテナンスまでワン・ストップで提供し、顧客のコストを大幅に削減



▶ キャピタルマーケット・ソリューション

- 金融資本市場ビジネスにおけるテクノロジーソリューションを提供
- 収益に貢献するフロント領域のサービスにより長期取引を確保

▼ パートナーシップ・ビジネス

- グローバルの最先端技術を日本の金融資本市場へ導入
- 海外スタートアップ企業とのパートナーシップ締結により展開

■ グローバルオペレーション・ビジネス

- 金融機関の基幹システムを対象としたモニタリングサービスを提供
- 拠点として横浜グローバルセンターを開設

みずほ証券と KxShareでは推定

KxShareの注目

フィナンシャルテクノロジーの強み

- ✓ 経験豊富な専門家による一気通貫のプロフェッショナルサービス
- ✓ 低レイテンシーで高い可用性を持ち、かつスケーラブルな取引プラットフォーム
- ✓ 先端技術を駆使したハイスペックなプロダクト

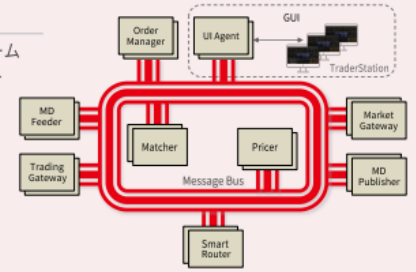
ソリューション

- プロジェクトの全過程においてフルレンジでサービス提供
- リードタイムと柔軟性を管理

事前分析 ▶ テクニカルデザイン/プラン ▶ 開発 ▶ テスト ▶ デプロイメント/実装 ▶ 運用 ▶ 保守

プロダクト

- 取引プラットフォーム
- データマネジメント



- マッチングエンジン
- スマートオーダールータ
- 市場データシステム
- トレーディングゲートウェイ
- プライシングエンジン
- GUI（グラフィカル・ユーザー・インターフェイス）

2023/2/24　GRCS『事業計画及び成長可能性に関する事項』より

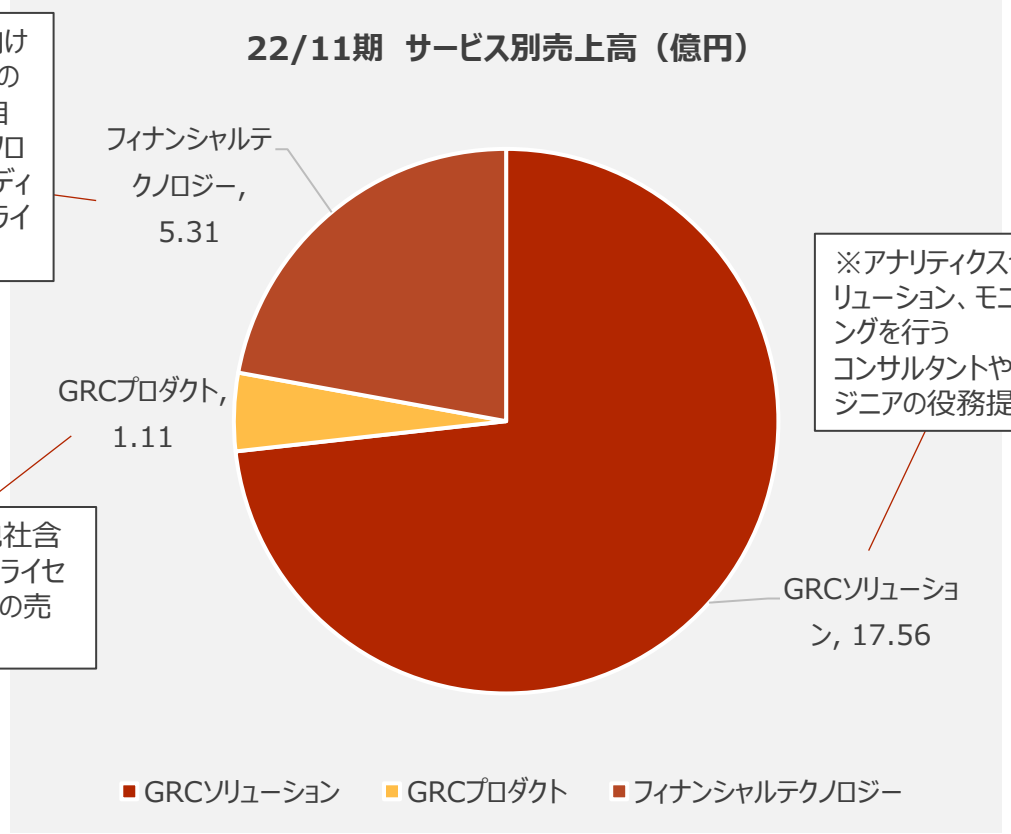
Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

事業概要　現在の事業全体感

KxShare

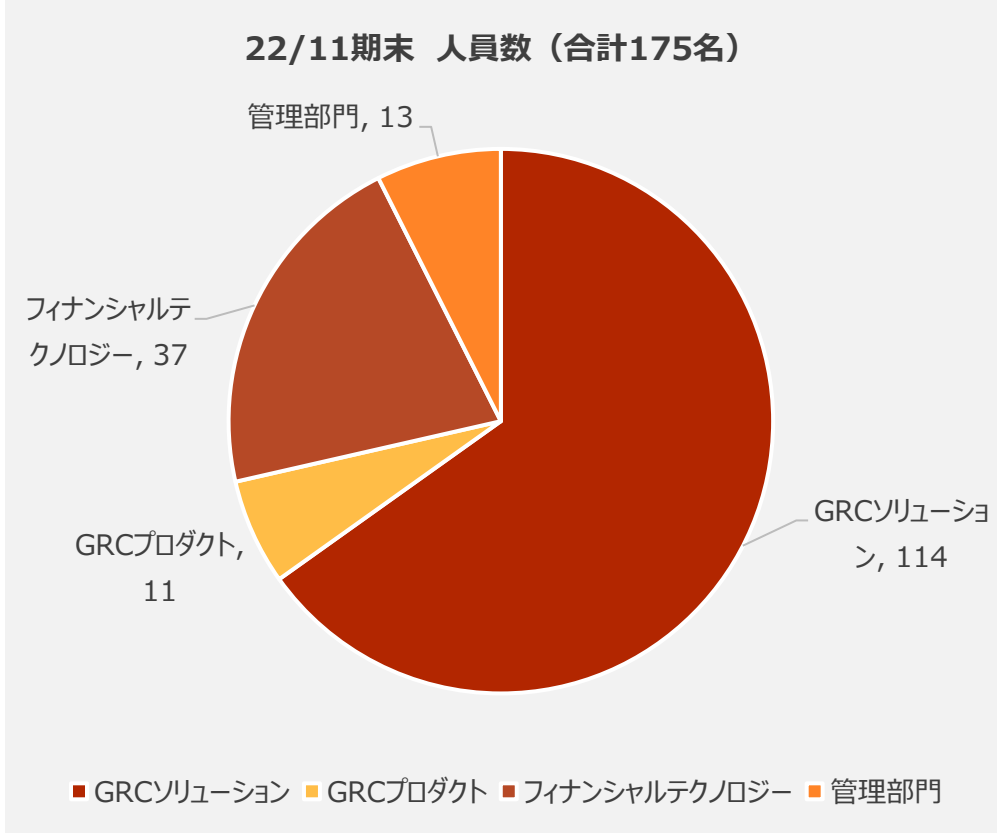
ここまでで事業内容を説明してきたが、現在の売上及び人員構成は以下のとおり。
現状プロダクトのライセンスによる収益は大きくなく、あくまで役務提供による売上がメイン。

※金融機関向けの従来のGRCの仕事に加え、自社開発したのフロント向けトレーディングシステムのライセンスも計上



※アナリティクスやソリューション、モニタリングを行うコンサルタントやエンジニアの役務提供

※自社・他社含むプロダクトライセンスや保守の売上



2023/2/24　GRCS『事業計画及び成長可能性に関する事項』より
KxShare作成

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

エクイティストーリー① 文系版SHIFTとも言えるプロファーム

KxShare

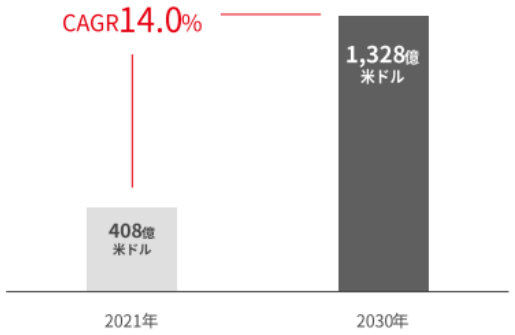
GRCコンサルティングはグローバルで成長市場。専業の当社はコスト競争力があり、人を増やせば成長できる状態。
同社のコア事業であるGRCソリューションは平均人月売上150万円ほど（*）であり、外注比率が恐らく3-4割程度（*）あることを考慮しても単価水準は低くない。**競合の監査法人対比ではコストメリットが大きい**と推察。

＊…計算根拠は、22/11期中平均97名（81⇒114名）で売上高17.5億円。労務費：外注費＝３：２。

市場環境

- ✓ 国内のGRC市場についてまだ数字はないが、GRCとセキュリティの対応は企業経営における喫緊の課題
- ✓ 世界のGRC市場は年平均14.0%の成長と予想されており、日本においても同様の成長が見込まれる

世界のGRC市場



国内GRC市場の成長

既にGRCが企業経営において
標準装備されている欧米と足並みを揃えるために
より早いスピードで市場が成長する可能性が高い



⇒ グローバルでCAGR 14%の市場。
日本の統計は無いが、当社CAGR 28%が成長の証左。

競合環境

- ✓ 日本で唯一の経営の守り特化型企業
- ✓ 国内のグローバル企業による利用を見据えたサービスの展開

外資系大手会計コンサルやソリューションベンダー

フルスペックで高価

ソリューション

EY	pwc	KPMG	Deloitte.
イギリス	イギリス	オランダ	アメリカ

プロダクト

ORACLE	IBM	servicenow	SAP
アメリカ	アメリカ	アメリカ	ドイツ

経営の守り特化型

継続的な契約を見越し、リーズナブルな価格で提供

GRCS

- ✓自社開発プロダクトの利用
- ✓10年以上に渡るノウハウの蓄積

⇒ 競合は外資監査法人系のコンサルティングファーム等。
当社は専業で自社プロダクトも活用しリーズナブルにサービス提供。

2023/2/24 GRCS『事業計画及び成長可能性に関する事項』

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

エクイティストーリー② 金融トレーディングプラットフォームの成長ポテンシャル

KxShare

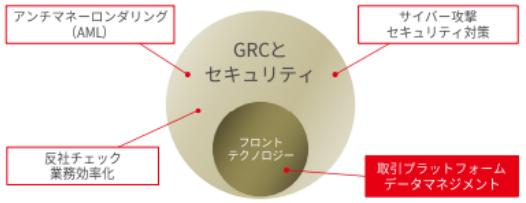
2022/10/20に『フィナンシャルテクノロジーサービスの本格展開開始』のリリースするなど、証券会社のフロントが使うトレーディングプラットフォームを開発してきた。同年12/20には同PFの開発チームであったEOS Software社からヘッドとチームを事業譲受し、直雇用によりサービス強化と費用効率化を狙う。開発・導入後は粗利の高いライセンスビジネスとなる。

Action２．：フィナンシャルテクノロジーへの投資

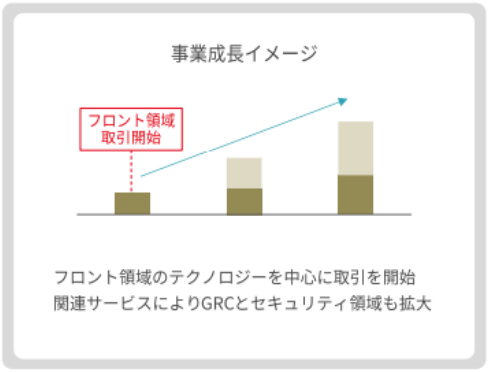
急速な進化と成長を続け、市場拡大が見込めるフィナンシャルテクノロジーにフォーカス

- ✓ 金融機関の収益に直結するフロント領域のテクノロジーは高度で進化のスピードが速い
- ✓ GRCとセキュリティ領域の課題もフロント領域の変化と同様に高度化
- ✓ 効率的なサービス提供により、金融業界での事業展開を加速するためフロント領域のサービスを本格化

サービス領域拡大の流れ



① 金融ビジネスのフロント領域から取引開始
② GRCとセキュリティ領域とワン・ストップサービスにより取引拡大
③ 技術の進化や環境変化を双方の領域に展開しシナジーを発揮



⇒ 金融機関（主にみずほ証券）向けのGRCからフロントシステムへ参入。プロダクトライセンスビジネスのため粗利が高い。なお当該トレーディングプラットフォームの画像は未公開。BloombergやHYPER SBIのようなソフトウェアと言えばイメージしやすい。

（参考2）フィナンシャルテクノロジー部門のチーム実績

- ✓ グローバル市場にハイスペックなプロダクトを提供し続けるワールドクラスの開発チーム
- ✓ お客様のシステムを24時間/365日体制でモニター・サポートするバイリンガルスタッフによるオペレーションチーム
- ✓ プロジェクトの要件定義から開発、実装に至るまで一気通貫でカバーするプロジェクトマネジメントチーム

開発チームの主な実績



⇒ シンガポールSGX、EURONEXT等でシステム開発に従事し、日本でも使われるChi-xのオーダーシステム等を開発していたチームが、ヘッド（Tse Man Chun氏）とエンジニアごと当社に移籍（2022/12/20リリース）。

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

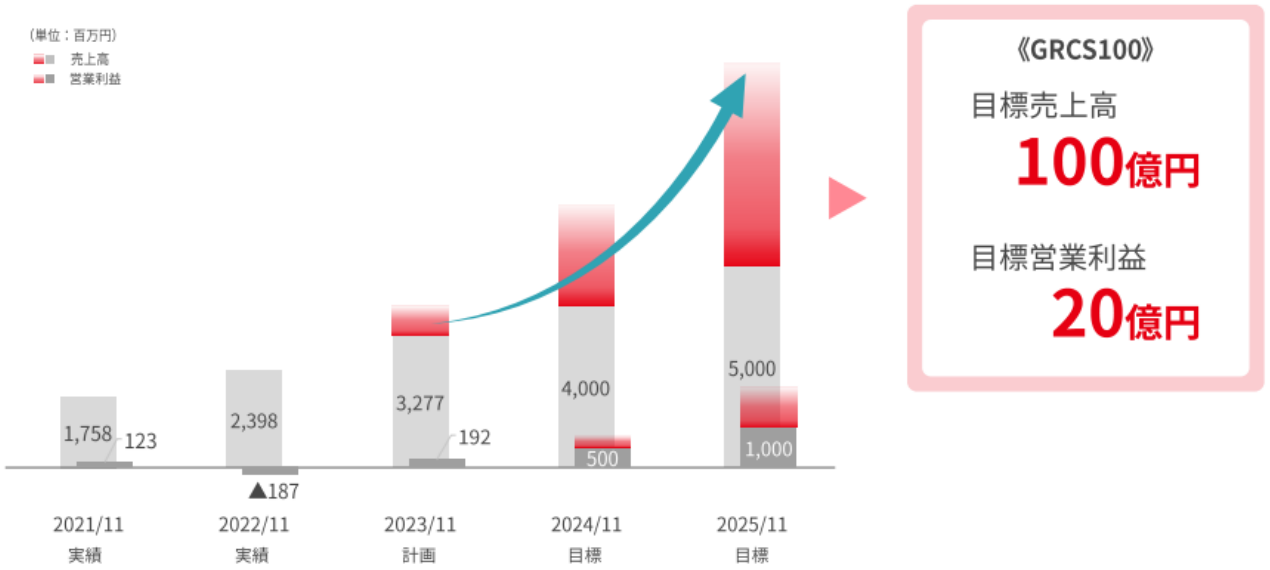
エクイティストーリー③　金融への先行投資が一巡し下期から利益創出フェーズ入り

KxShare

22/11期は、8月に連結移行とフィナンシャルの先行投資を理由にSa 22、Op ▲2.2へ利益を下方修正した。前述のトレーディングプラットフォーム開発のためのEOSへの開発費が膨らんだ。23/11期は開発が一巡、またEOSを事業譲受し当該人員を売上の立つ業務にシフトさせて**下期に黒字転換**する計画。1月に発表された数値目標でも**次期以降、増益加速**の内容。

2025年 目指す姿 「GRCS100」

- ✓ オーガニックで30%成長を実現し、2025年11月期の売上高50億円、営業利益10億円を目指す。
- ✓ 既存事業の成長に加え、M&Aやグローバル展開等の新規事業にて売上高100億円、営業利益20億円にチャレンジ。



《GRCS100》

目標売上高
100億円

目標営業利益
20億円

⇒ **23年1月の決算資料にて3年間の業績目標を公表済み**

2023/1/13　GRCS『2022年11月期　決算説明資料』

2022年11月期決算 質疑応答集

2022年11月期決算発表後に頂戴した主なご質問について、要旨を下記のとおり公開いたします。
なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q1　2023年11月期は黒字化の業績予想ですが、利益率の改善要因を教えてください。また、いつから黒字化するのでしょうか？

A1　2022年11月期の利益率減少の主な要因は、フィナンシャルテクノロジーを担う専門人材への投資により労務費が増加したこととなります。2023年1月にフィナンシャルテクノロジー部門において事業譲受が完了したことでサービスの提供体制が強化されました。
当期は、前期の実績や足元の需要に鑑みて、売上高は30%以上成長できるものと考えております。加えて、事業譲受による売上原価の低減効果により利益率が改善し黒字化することを見込んでおります。当社のビジネスモデルは四半期ごとに売上高が増加していくため、上期よりも下期の業績が伸びやすくなっております。そのため、黒字化の時期も下期を見込んでおります。

2023/2/3　GRCS『2022年11月期決算　質疑応答集』

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

カタリスト・リスク

KxShare

	短期	中長期
カタリスト	**1月に発表された25年11期までの業績目標と同社のストーリーが十分に株価に織り込まれているとは言い難く**、認知度向上と主に株価に反映されると考える。 今期中に**トレーディングプラットフォームの新規受注**が決まれば、今期の会社計画達成や来期以降の利益成長の確度が高まる。	24年11月期Op 5億円（EPS 250円程度）、25年11月期Op 10億円（EPS 500円程度）の達成確度が高まれば、現株価（3000円程度）の割安感が意識されると考える。 市場が拡大していて需要はある中で、M&Aによる人手の確保があればカタリストとなる。SHIFTのストーリー。
リスク	**23/11期Q1はGRC及び金融事業のスロースタートにより、35%程度の増収があっても赤字が想定される**。ただしこれは会社計画上も織り込まれている。 23年1月にEOSの事業譲受で**6.5億円のキャッシュアウト**があり、手元現金8.5億円、有利子負債5.7億円、自己資本4.4億円に対してはインパクトが大きく、ファイナンスリスクが想定される。自己株1億円があるが、**3億円程度の調達の必要性はリスク**として意識すべき。 通期の会社計画Op 1.9億円はややアグレッシブに見えており、KxShareではOp 1億円弱の着地を想定。	GRC事業において同社は競争力があると考えており、当面の大きなリスクは想定されない。 ファイナンステクノロジー事業ではEOSから事業譲受した香港のチームがいかにワークするかにかかっている。

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

Appendix 業績推移

KxShare

財務諸表(億円) GRCS(9250)	19/11 通期	20/11 通期	21/11 通期	22/11 通期	23/11 会社計画	24/11 会社目標	25/11 会社目標	23/11 KX予想	22/02 Q1	22/05 Q2	22/08 Q3	22/11 FY	Q1 KX予想	Q2 KX予想	Q3 KX予想	FY KX予想
売上高	11.0	14.3	17.6	24.0	32.8	40.0	50.0	32.5	5.2	5.9	6.5	6.4	7.1	8.1	8.6	8.9
yoy	42.9%	30.0%	22.8%	36.4%	36.6%	22.1%	25.0%	35.5%	38.2%	29.5%	46.9%	32.1%	35.0%	36.7%	33.0%	39.5%
原価	8.7	10.9	12.8	19.6	32.8	40.0	50.0	24.7	4.1	4.6	5.3	5.6	5.6	6.1	6.5	6.6
粗利	2.3	3.4	4.8	4.4				7.8	1.1	1.3	1.2	0.8	1.4	1.9	2.2	2.3
粗利率	20.7%	23.8%	27.1%	18.2%				24.0%	21.2%	21.6%	18.5%	12.3%	20.0%	24.0%	25.0%	26.0%
販管費	3.0	3.1	3.5	6.2				7.2	1.2	1.3	1.7	2.1	1.9	1.7	1.8	1.9
yoy	-	5.9%	12.7%	76.4%				15.4%	67.8%	57.6%	91.2%	84.2%	61.7%	29.9%	5.2%	(9.2%)
営業利益	-0.7	0.3	1.2	-1.9	1.9	5.0	10.0	0.6	-0.1	-0.0	-0.5	-1.3	-0.5	0.2	0.4	0.4
yoy	-	(139.1%)	360.3%	(252.3%)	(202.4%)	160.4%	100.0%	(132.0%)	(138.1%)	(107.3%)	(232.5%)	(582.9%)	614.1%	(872.4%)	(187.9%)	(131.0%)
営業利益率	(6.2%)	1.9%	7.0%	(7.8%)	5.9%	12.5%	20.0%	1.8%	(1.3%)	(0.5%)	(7.1%)	(20.6%)	(7.0%)	3.0%	4.7%	4.6%
限界利益率	(20.7%)	28.8%	29.5%	(48.5%)	43.2%	42.6%	50.0%	29.1%	(17.2%)	(34.3%)	(39.3%)	(102.5%)	(23.1%)	12.6%	40.7%	68.4%
経常利益	-0.7	0.2	1.0	-1.9	1.8	5.0	10.0	0.6	-0.1	-0.1	-0.3	-1.4				
特損特益				-0.0												
税引前利益	-0.7	0.2	1.0	-1.9	1.8	5.0	10.0	0.6	-0.1	-0.1	-0.3	-1.4				
法人税	0.0	-0.2	-0.4	0.1	0.7	1.8	3.6	0.2	-0.0	-0.0	0.3	-0.1				
税率	(0.6%)	(106.4%)	(43.6%)	(5.8%)	36.3%	36.0%	36.0%	31.0%	28.6%	25.9%	(80.3%)	8.7%				
非支配株主持分				0.1								0.0				
当期利益	-0.7	0.5	1.4	-2.1	1.2	3.2	6.4	0.4				-1.3				
自己株式(万																
発行済株式数(万		115.9	130.8		127.4	127.4	127.4	127.0	130.8	130.9	130.9					
EPS	-	40.0	110.0	-	91.0	251.1	502.3	32.6				-				
BPS	-	95.7	574.8	-					569.5	566.5	528.7	-				
1株当たり配当																
うち中間配当																
総資産	4.9	6.0	12.7	15.0					12.3	13.0	14.9	15.0				
総負債	4.2	4.9	5.2	10.2					4.8	5.6	7.9	10.2				
自己資本	0.6	1.1	7.5	4.8					7.4	7.4	6.9	4.8				

KxShare注釈

前期下期にかけて。トレーディングプラットフォームの開発コストを原価労務費に積み増していたが、Q1以降は平準化されると推定。

前期下期に販管費が膨らんだのは採用費やオフィス移転にかかる費用や二重家賃など。

実績：上場時目論見書、有報、KxShareボトムフィッシャーからKxShare運用部作成
予想：会社計画は決算短信、決算説明会資料から、KxShare予想はKxShare運用部作成

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

Appendix　株価チャート

KxShare



Yahoo! Finance　https://finance.yahoo.co.jp/quote/9250.T/chart
（2023/2/28アクセス）

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

Appendix 役員

KxShare

① 役員一覧

男性6名 女性2名 （役員のうち女性の比率25.0%）

役職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数（株）
代表取締役社長	佐々木 慈和	1976年９月５日	2002年１月 日本ヒューレット・パッカード株式会社 （現 日本ヒューレット・パッカード合同会社）入社 2005年３月 Frontier X Frontier株式会社（現 当社）設立 代表取締役社長（現任） 2013年２月 一般社団法人日本ＣＩＳＯ協会代表理事 2020年11月 合同会社Trojans設立 代表社員（現任）	（注）３	520,100 （注）５
取締役グローバルテクノロジー部長	塚本 拓也	1978年４月５日	2002年４月 NECソフト株式会社 （現 NECソリューションイノベータ株式会社）入社 2007年５月 株式会社ENVISIONLAB代表取締役就任（現任） 2013年12月 当社取締役 2019年12月 当社取締役グローバルテクノロジー部長（現任）	（注）３	80,000
取締役管理部長	田中 郁恵	1970年11月25日	1993年４月 株式会社日本エル・シー・エー（現 株式会社インタープライズ・コンサルティング）入社 1997年６月 有限会社アガスタ（現 株式会社アガスタ）設立 1998年12月 同社取締役 2010年４月 株式会社オー・テイ・テイ・エス取締役 2012年７月 株式会社アズイッツ設立 代表取締役（現任） 2013年10月 チェッカーモータース株式会社入社 2014年５月 当社取締役 2014年10月 ネットスクエア株式会社取締役 2019年12月 当社取締役管理部長（現任）	（注）３	40,000
取締役	久保 恵一	1953年11月13日	1976年３月 等松・青木監査法人 （現 有限責任監査法人トーマツ）入所 2009年４月 デロイト トーマツリスクサービス株式会社 代表取締役社長 2015年１月 マッシュトレーディング株式会社取締役 2015年１月 公認会計士久保恵一事務所開業（現任） 2015年５月 一般社団法人ＴＸアントレプレナーパートナーズ理事 2016年６月 合同会社ビズサプリグループ代表社員 2016年７月 株式会社ウィルトス取締役（現任） 2018年３月 当社社外取締役（現任） 2019年３月 東亜石油株式会社取締役（現任） 2019年11月 株式会社ANSeeN監査役（現任） 2020年６月 株式会社ぱど（現 株式会社Success Holders）取締役（現任） 2021年２月 合同会社ビズサプリグループ有限責任社員（現任）	（注）３	1,000
取締役	山野 修	1959年６月13日	1984年６月 AT&Tベル研究所主任研究員 1985年11月 横河ヒューレット・パッカード株式会社 （現 日本ヒューレット・パッカード合同会社）入社 1999年９月 ＲＳＡセキュリティ株式会社代表取締役社長 2010年７月 ＥＭＣジャパン株式会社代表取締役副社長 EMC Corporation副社長 2011年１月 ＥＭＣジャパン株式会社代表取締役社長 2016年５月 マカフィー株式会社代表取締役社長 Intel Corporation副社長 McAfee, LLC.副社長 2019年３月 アカマイ・テクノロジーズ合同会社職務執行者社長 Akamai Technologies Inc.副社長 2022年２月 当社社外取締役（現任）	（注）３	－
常勤監査役	大泉 浩志	1953年９月24日	1978年４月 株式会社埼玉銀行（現 株式会社りそな銀行）入行 2002年４月 ハートフォード生命保険株式会社 （現 オリックス生命保険株式会社）入社 2004年12月 ファイザー株式会社入社 2007年３月 リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社監査役 2011年６月 シンバイオ製薬株式会社監査役 2016年３月 株式会社アイエスエイ監査役 2018年４月 当社社外常勤監査役（現任）	（注）４	－
監査役	島田 容男	1969年２月２日	1991年10月 監査法人トーマツ （現 有限責任監査法人トーマツ）入所 2000年８月 JPモルガン証券会社（現 JPモルガン証券株式会社）入社 2001年８月 ドイツ証券会社（現 ドイツ証券株式会社）入社 2003年４月 フェニックス・キャピタル株式会社（現 エンデバー・ユナイテッド株式会社）入社 2004年11月 株式会社江戸沢 （現 株式会社焼肉坂井ホールディングス）取締役 2005年10月 コンピタント株式会社入社 2007年７月 株式会社ケーズカラナリープランニング取締役 2007年12月 プリモ・ジャパン株式会社監査役 2008年５月 コンピタント税理士法人代表社員（現任） 2010年７月 株式会社アイペット （現 アイペット損害保険株式会社）監査役 2013年７月 J&M Design Center Sdn Bhd Company Director 2014年７月 当社社外監査役（現任） 2014年10月 ネットスクウェア株式会社 取締役 2015年２月 マーチャント・キャピタル株式会社 取締役 2016年10月 株式会社ナインシグマ・ジャパン （現 ナインシグマ・アジアパシフィック株式会社）監査役（現任） 2016年10月 株式会社カントクグローバルコーポレーション取締役 2016年10月 株式会社SCホールディングス（現 株式会社ヴァティー）監査役 2017年４月 株式会社ヒューマンクリエイションホールディングス 監査役 2017年４月 株式会社ぶんか社 監査役 2018年１月 レイフィールド株式会社 取締役 2018年12月 マーチャント・キャピタル株式会社 代表取締役 2019年８月 レイフィールド株式会社 代表取締役 2020年４月 株式会社ヒューマンクリエイションホールディングス 取締役（現任） 2021年10月 東京インフラ・エネルギー投資法人 監督役員（現任）	（注）４	－
監査役	伊賀 志乃	1980年４月27日	2006年10月 ホワイト＆ケース法律事務所入所 2009年２月 経済産業省経済産業政策局競争環境整備室室長補佐 2011年１月 ホワイト＆ケース法律事務所復帰 2018年４月 当社社外監査役（現任）	（注）４	－
計					641,100

（注）１．取締役 久保恵一及び山野修は、社外取締役であります。
２．監査役 大泉浩志、島田容男及び伊賀志乃（弁護士職務上の氏名 朝山志乃）は、社外監査役であります。
３．2022年２月25日開催の定時株主総会終結の時から、2022年11月期に係る定時株主総会の終結の時までであります。
４．2021年８月５日開催の臨時株主総会終結の時から、2024年11月期に係る定時株主総会の終結の時までであります。
５．代表取締役社長 佐々木慈和の所有株式数は、資産管理会社である合同会社Trojansが所有する株式数を含んだ実質所有株式数を記載しております。
６．当社は、執行役員制度を導入しております。執行役員は３名で、執行役員兼GRCプラットフォーム部長の徳永拓、執行役員兼GRCセキュリティ本部長の望月淳、執行役員の川尻陽平になります。

KxShareによる注釈

佐々木社長は2001年にUniversity of Southern Californiaのコンピューターサイエンス学科を卒業。日本HPを経て独立し2005年にFrontier X Frontier株式会社（現在のGRCS）を創業。
当初は教育系事業で立ち上げ、その後いくつかの事業に転じた後、2009年からGRC事業を集中。

2022/2/28
GRCS『有価証券告書第ー第17期』

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

Appendix グループ会社

KxShare

名称	住所	議決権割合	事業内容
株式会社GRCS（単体）	東京都千代田区	–	–
株式会社バリュレイト（連結子会社）	東京都中央区	70%	人材採用支援の会社。 同社人材を当社がリスキリングし、GRS・セキュリティの専門人材へ育成。また採用ノウハウを活かして当社のリクルーティングを強化。
EOS Software Limited 金融テクノロジーソリューション事業（事業譲受） ⇒ 現在は香港支店	香港	–	Chi-x社のスマートオーダールーター等のプロダクトを開発したチーム。 金融業界でのフロント領域のサービス開発。GRCとセキュリティ領域とのクロスセル。

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

Appendix 大株主

KxShare

創業者			
	Trojans（資産管理会社）	450,000	35.2%
	佐々木 滋和（創業社長	70,100	5.5%
	小計	520,100	40.6%
国内株主			
	塚本取締役	80,000	6.3%
	田中取締役	40,000	3.1%
	個人2名（エンジェル？）	80,000	6.3%
	三菱UFJキャピタル7号（VC）	15,000	1.2%
	信用買い残高（東証、23/2/17）	93,800	7.3%
	その他	405,700	31.7%
	小計	714,500	55.8%
海外株主			
	小計	45,400	3.5%
発行済み株式総数（自己株式除く）		1,280,000	100.0%
自己株式除く		1,280,000	97.7%
自社株		29,800	2.3%
発行済み株式総数		1,309,800	100.0%
（外数）潜在株式		100,790	7.7%

2023/2/28 GRCS『有価証券報告書－第18期』よりKxShare作成

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

Appendix 大量保有報告

KxShare

issue date	code	name	holder	description	Detail
2023/2/8	9250	GRCS	塚本　拓也	変更報告書	担保設定によるもの
2022/7/27	9250	GRCS	塚本　拓也	変更報告書	担保設定によるもの
2022/7/27	9250	GRCS	佐々木　慈和	変更報告書	担保設定によるもの
2022/7/27	9250	GRCS	三井住友信託銀行株式会社	大量保有報告書	Trojanの信託移管
2021/12/2	9250	GRCS	佐々木　慈和	変更報告書	IPO時のオーバーアロットメント
2021/11/25	9250	GRCS	塚本　拓也	大量保有報告書	IPOによるもの
2021/11/25	9250	GRCS	佐々木　慈和	大量保有報告書	IPOによるもの

EDINETからKxShare運用部作成

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

重要な開示情報

KxShare株式会社（以後、当社）は当資料の公表時において、GPとして運用するKxShare1号投資事業有限責任組合を通して、対象企業の普通株式を保有しております。

免責事項

本資料は、情報提供のみを目的としたもので本資料に記載される金融商品や戦略の売却の申し込みや購入の勧誘目的として使用されるものではありません。
当社による書面での許可なく、本資料の一部でも複写、転送することを禁止します。収益が達成されることを表明するものではありません。過去のパフォーマンスは将来の結果を示すものではありません。この資料に記載された見解は予告なく変更されることがあります。この資料に記載された商品および戦略は、一部の州または国において販売に適切ではない、またはすべての投資家に適したものではない可能性があります。当社は、本資料に記載された情報の正確性、完全性、信頼性、特定目的との適合性や商品性を保証するものではありません。当社は、この資料に記載された情報の使用、誤用、権限のない受領者への配布について何ら責任を負うものではありません。
当社はこの資料を作成するにあたり、対象企業及び利害関係者から対価を受け取っておりません。

著作権について

この資料に含まれる個々の情報（文字、写真、イラスト等）についての著作権は当社が有します。いかなる部分も、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社による許諾を得ることなく配布または転載、再販売を行うことは出来ません。
著作権は日本国著作権法及び国際条約により保護されます。

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved

「１億総株主時代」

株式投資をもっと当たり前に

KxShare

Copyright 2023 KxShare株式会社 All Rights Reserved